

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【公開番号】特開2003-334089(P2003-334089A)

【公開日】平成15年11月25日(2003.11.25)

【出願番号】特願2002-248910(P2002-248910)

【国際特許分類第7版】

C 1 2 N 15/09

A 0 1 H 5/00

C 0 7 K 14/415

// C 1 2 N 5/10

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 0 1 H 5/00 A

C 0 7 K 14/415

C 1 2 N 5/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成16年7月26日(2004.7.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(1)又は(2)の塩基配列及び(3)又は(4)の塩基配列を有するポリヌクレオチド。

(1)配列番号1の塩基配列

(2)下記いずれかのタンパク質をコードする塩基配列

(a)配列番号2のアミノ酸配列から成るタンパク質

(b)配列番号2のアミノ酸配列において1若しくは数個のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列から成り、かつその発現によりプラシノステロイドの合成を促すタンパク質

(3)配列番号3の51~1625位の塩基配列

(4)下記いずれかのタンパク質をコードする塩基配列

(c)配列番号4のアミノ酸配列から成るタンパク質

(d)配列番号4のアミノ酸配列において1若しくは数個のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列から成り、かつその発現によりプラシノステロイドの合成を促すタンパク質

【請求項2】

プロモーター及び請求項1に記載のポリヌクレオチドを有し、該塩基配列のいずれもが該プロモーターに対して順方向に連結されているポリヌクレオチド。

【請求項3】

プロモーター及び請求項1に記載のポリヌクレオチド又はそれらの部分配列を有し、該塩基配列の少なくとも一方又はそれらの部分配列の少なくとも一方が該プロモーターに対して逆方向に連結されているポリヌクレオチド。

【請求項4】

請求項1~3のいずれか一項に記載の遺伝子又はポリヌクレオチドを含有するプラスミ

ド。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の遺伝子又はポリヌクレオチドにより形質転換された植物。

【請求項 6】

請求項 1 に記載のポリヌクレオチドにより植物を形質転換し、該遺伝子又は該ポリヌクレオチドを発現させるか又はその発現を抑制することにより、該植物の形態を変化させる方法。

【請求項 7】

請求項 2 又は 3 に記載の遺伝子又はポリヌクレオチドにより形質転換された植物に前記プロモーターに応じた刺激を与えることにより、該植物の形態を変化させる方法。

【請求項 8】

請求項 6 又は 7 に記載の方法で形態が変化した植物。

【請求項 9】

(a) 又は (b) のタンパク質及び (c) 又は (d) のタンパク質から成るタンパク質の混合物又は複合物。

(a) 配列番号 2 のアミノ酸配列から成るタンパク質

(b) 配列番号 2 のアミノ酸配列において 1 若しくは数個のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列から成り、かつその発現によりプラシノステロイドの合成を促すタンパク質

(c) 配列番号 4 のアミノ酸配列から成るタンパク質

(d) 配列番号 4 のアミノ酸配列において 1 若しくは数個のアミノ酸が欠失、置換若しくは付加されたアミノ酸配列から成り、かつその発現によりプラシノステロイドの合成を促すタンパク質